

かま自立相談支援センターに関する事業報告

1. 総括

今年度、かま自立相談支援センター（以下「センター」という。）で受けた相談は2,067件（前年比186件増）でした。この内114件（前年比26件増）が生活困窮にかかわる新規相談で、年間をとおして1,033回の相談対応とアプローチをしています。新規相談114件の内、29件（25.4%）が絶対的貧困状態（住むところ・食べるものなど生きていくために必要なものが得られない状態）で相談につながり、残り85件（74.6%）が相対的貧困状態（経済的困窮などにより、一般の人が実現できる様々なことができない状態）にありました。そのときの困窮状態の詳細をみると、ほぼすべての方が複数（270件）の困りごとを抱えていて、平均すると2.37件となりました。最も多かったのが「収入・生活費」80件（29.6%）で、「仕事探し」29件（10.7%）、「病気や障がい」24件（8.8%）、「家賃やローンの支払い」19件（7%）、「税金や公共料金の支払い」19件（7%）、「住まい」18件（6.6%）、「食べるものがない」18件（6.6%）、「債務」16件（5.9%）と続いています。さらに詳細を見てみると、「収入・生活費」においては、無職（精神疾患・再就職の失敗等）で独身の40～50代の子どもが高齢の親と同居し、生活費を頼っていることによる親からの困窮相談が増えつつあり、7件がその内容でした。中には、子どもがひきこもり状態にあることを吐露された方もおられ、「7040」、「8050」問題は、見えていないだけで確実に広がっていると感じます。だからこそ、孤立させないための仕組み（福祉関係各課・子ども支援課・納税課・住宅課などの困窮情報の共有及びセンターによるアウトリーチなど）が求められていると思います。また、生活費の枯渇（食べる物がない・ライフラインが停止・公営住宅家賃の滞納など）とDV（ドメスティックバイオレンス）は密接に関係していることを物語る相談も3件あり、他機関・他職種連携（男女共同参画推進課、高齢者相談支援センター、健康課、保護課、医療機関、高齢者施設など）による支援の大切さを実践の中で学ぶこととなりました。

「家賃やローンの支払い」においては、公営住宅等の家賃を長期滞納し、明渡しや裁判を起こすとの予告が届いてから相談につながるが増えています。その際は、分納相談に同行したり、家計の見直し等を行ったりしますが、滞納額が大きければ一括支払いを求められてしまいます。家賃を長期滞納している場合には、光熱水費や携帯代の支払いが滞り、食べる物も尽きていることが多いため、相談支援員がきちんとアセスメントをしたうえで、福岡県社会福祉協議会と連携して行っている「ふくおかライフレスキュー事業」や「かま福祉ネットワーク委員会」からの現物給付によって、急場を凌ぐこが増えています。また、あらたな入居先を見つける「住まい」の相談において、壁となるのは連帯保証人です。県営住宅においては令和2年4月から連帯保証人がなくても申込みができることとなりましたが、申請期間が決まっていたり、若年単身者の場合は戸数が限られるなど、「今入居が必要」という緊急時には対応しづらい面があります。市営住宅においては、これまでどおり連帯保証人を必要としています。民間の賃貸住宅については、不動産業者を介して保証協会の審査を通過（自己破産等の履歴がないこと、就労証明がでること、連絡手段が確保できること）することが必要となりますが、困窮状態にある方にとっては、様々な理由で要件を満たすことは難しい面があることも事実です。その際には、本会が民家を借用して開設している「寄ってこハウス」に一時的に入居してもらい、一息ついて次のステップに向けて動くようにしていますが、先に記した要件をクリアできなければ身動きがとれなくなってしまうため、生活困窮者自立支援制度の任意事業である「一時生活支援事業」の実施や法人による連帯保証などについて、検討して行く必要があるのではないかと思います。

「税金や公共料金の支払い」、「債務」の相談においては、当然、失業等による収入減、借金を重ねたことによる家計破たんが多くを占めますが、一方では、生活が十分できる年金や就労収入があるにもかかわらず生活に困窮している方もおられます。この場合は、家計の見直しと同時に本会が実施している金銭管理や書類等の預かりサービスを組み込んで、家計の立ち直りを支援するようにしています。このように、相談者からの困りごとは、年々複雑・多様化しているため、相談の第一線に立つ相談支援員のアセスメント力や支援の方向性を見出す見立て力、関係機関等との調整力がなければ問題の解決は覚束ないため、それぞれが力量をさらに高めていかなければならないと思うところです。

自立支援プランを協議する支援調整会議は11回開催し、家計改善支援プランも含めて延べ49件について協議し、コアメンバー（保護課、ハローワーク、センター）とプラン内容に応じて加わってもらった機関を含めて、延べ95人が出席しています。自立支援プランの協議においては、問題の複雑さを物語るように、はじめて協議に加わっていただいた機関も増えています。その意味でも、相談支援員がご本人とともに作成する自立支援プランの目標（長期・短期）を関係者が共有し、役割分担をしながら支援していくことが重要であると感じています。なお、これからも、プランの協議に際しては、支援者サイドの価値観の押しつけにならないこと、協議の中心はご本人であり、自己決定を支援することを忘れないようにしていきたいと思っています。

就労支援員による支援については、ハローワークの求人情報のほか、フリーペーパー情報を延べ45回提供し、5人が一般就労につながりました。失業状態が生活困窮に直結している方がほとんどで、早急に就職先を決めたいと話されるため、どういった職種を希望しているかを細かく聞き取るように心がけていますが、求人情報を提供しても、面接までいかないことも多く、相談者が希望する求人情報を的確に提供することが重要と感じています。また、ハローワークと繋がることで、紹介先企業の情報を得ることが出来るため、相談者も就職後のイメージを膨らますことができています。今後も、ハローワークとの連携を図り、相談者が希望する求人情報の提供に努めていきたいと思っています。

家計改善支援事業については、17件（前年比11件増）の相談がありました。その時の困りごとは延べ41件で、詳細をみると「収入や生活費」13件、「債務の返済」10件、「税金や公共料金の支払い」7件、「家賃やローンの支払い」9件、その他2件となりました。継続の方も含めた家計改善支援の延べ回数は268回（前年148件増）となりました。また、家計改善支援についても主訴をじっくり聞いてスクリーニングをすることとなりますが、17件の結果は、引き続き支援を継続する5件、プランを策定し継続支援する6件、他の制度や専門機関につなぐ3件、相談のみで終了3件となっています。スクリーニングをする中で、税務課や住宅課、債権者などとのやりとりもしています。家計改善支援プランを立てた方のうち、5名が社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業等をつうじて金銭管理をしています。相談支援員は、困窮状態に至っている根本原因の分析、家計の見える化等を図った上で、必要に応じて分納相談に同行したり、債務整理等を弁護士に相談したりします。今年度も1件自己破産手続きと2件任意整理手続きを弁護士に依頼しています。自己破産手続きでは、申立ての際に家計表を裁判所に提出する必要があり、自身で家計表をつけることになるため、その際のサポートをしています。

生活福祉資金貸付事業については、新規相談が107件（前年比43件増）、継続相談が528件（前年比30件減）、貸付に至ったのは35件（前年比15件減）、貸付総額は6,083,000円（前年比10,712,000円減）となりました。貸付けた資金の内訳は、教育支援資金13件、緊急小口資金11件、福祉資金10件、総合支援資金1件となっています。緊急小口資金及び総合支援資金の相談については、センターの利用が必須となっているため、借入申込みに際して自立相談支援機関としての視点で支援方針を伏していますが、公的給付である生活保護費が入るまでのつなぎ資金として貸付けたケースが9件と最も多くなりました。また、福祉資金については、被保護者の生活必需品の購入資金（エアコン等）として貸付けたケースが8件と最も多くなりました。また、令和2年3月中旬以降は新型コロナウイルス感染拡大防止措置による失業や生活費の困窮相談が入るようになり、3月末までに2件の特例貸付（緊急小口資金1件、総合支援資金（生活支援費）1件）の手続きを行い、決定を受けています。この特例貸付に関する相談は、今後も増え続けて行くと思われます。

フードバンク事業については、食品及び物品の協力が延べ22件（前年比12件減）あり、必要とした37人に対して、延べ61回（前年比22件増）提供しました。食品等については、障がい者支援施設清浄学園、障がい者支援施設さくら学園及び第2さくら学園、軽費老人ホーム稲穂園 介護老人保健施設シルバーケア嘉穂が在庫状況に応じて提供して下さるため、今年度も食品が不足することはありませんでした。また、今年度の後半からは、「ふくおかライフレスキュー事業」や「かま福祉ネットワーク委員会」をつうじた継続的な支援が増えたことで、フードバンク事業から定期的に支援することが減り、緊急的な対応が増えています。困った「今」を支える選択肢は増えてきましたが、相談者にとって必要な支援をしっかりと見極めていくことが必要だと考えています。また、消費期限の管理も継続してしっかりおこなっていきたいと思います。

無料職業紹介事業については、常用求人登録が延べ81件（前年比2件減）、求人登録企業は6社となりました。求職登録に至ったのは9人で、その内1人に紹介状を発行し、採用されました。紹介事業の許可があることで、企業等を訪問して、求人情報の提供を依頼できることは大きなメリットであり、1人の方はこちらからの働きかけで採用されています。企業訪問については充分とは言えないため、今後さらに努力して、一人でも多くの方の就職につなげていきたいと考えています。

2. 事業実績

(1) 相談受け付け等に関すること

相談件数 2,067件（来所396件 訪問389件 電話637件 転送電話7件 同行167件 関係機関から445件 メール26件）

① 初回相談

件数114件（来所47件 電話35件 関係機関等から32件）

② 年齢

人数114人（20歳～29歳8人 30歳～39歳15人 40歳～49歳20人 50歳～59歳22人 60歳～69歳20人
70歳～79歳12人 80歳～89歳3人 不明14人）

③ 性別

人数114人（男性74人 女性39人 不明1人）

④ 相談内容（複数）

相談内容延べ件数270件（病気や健康・障がい24件 収入や生活費80件 仕事探しや就職29件 家賃やローン19件
税金や公共料金19件 債務16件 家族関係・人間関係4件 住まい18件 仕事上のトラブル4件
子育て・介護8件 ひきこもりや不登校2件 地域関係1件 食べるものがない18件 その他28件）

⑤ クリーニング結果

スクリーニング件数114件

（他の制度や専門機関につなぐ43件 引き続き支援を継続する24件 情報提供や相談のみで終了39件 プランを策定し継続支援する8件
支援途中で中断・終了0件）

※他の制度や専門機関につないだ内訳（詳細内訳 複数）

件数43件 本会事業17件（内訳：生活福祉資金貸付事業14件、権利擁護センター2件、フードバンク1件）
行政10件（保護課7件 こども育成課1件 市民係1件 住宅課1件）
ハローワーク7件 医療機関1件 法曹関係2件 ふくおかライフレスキュー1件 障がい者基幹相談センター1件
商工会1件 労働局1件 若サポ1件 ジャパンマック福岡1件

⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数1,033回（来所192回 訪問235回 電話297回 転送電話6回 同行109回 関係機関から168回 メール26回）

⑦ 支援プランの策定状況

自立支援プラン策定件数32件（新規プラン14件 再プラン7件 終了11件）
家計改善支援プラン策定件数17件（新規プラン8件 再プラン1件 終了8件）

(2) 支援調整会議に関すること

① 支援調整会議の開催

- 第1回 開催年月日 平成31年4月24日（水） 出席者数／6人
協議内容／・自立再プラン案の検討（2件）・家計再プラン案の検討（1件）
出席関係機関・団体／保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 自立相談支援センター
- 第2回 開催年月日 令和元年5月30日（木） 出席者数／9人
協議内容／・自立再プラン案の検討（2件）・家計再プラン案の検討（1件）
出席関係機関・団体／保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 医療法人昌和会見立病院 稲築東在宅介護支援センター
かま権利擁護センター 自立相談支援センター
- 第3回 開催年月日 令和元年7月30日（火） 出席者数／7人
協議内容／・自立新規プラン案の検討（3件）・家計新規プラン案の検討（3件）
・その他 平成30年度かま自立相談支援センター事業報告
出席関係機関・団体／保護課 ハローワーク 自立相談支援センター
- 第4回 開催年月日 令和元年8月27日（火） 出席者数／12人
協議内容／・自立再プラン案の検討（2件）・家計再プラン案の検討（1件）
出席関係機関・団体／保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 医療法人昌和会見立病院 嘉麻市高齢者相談支援センター
かま権利擁護センター 自立相談支援センター
- 第5回 開催年月日 令和元年9月27日（金） 出席者数／7人
協議内容／・自立新規プラン案の検討（2件）・家計新規プラン案の検討（1件）
出席関係機関・団体／保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 自立相談支援センター

- 第6回 開催年月日 令和元年10月25日(金) 出席者数/13人
 協議内容/・自立新規プラン案の検討(1件)・自立再プラン案の検討(3件)・家計再プラン案の検討(3件)
 出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 嘉麻市男女共同推進課 軽費老人ホーム三光園
 かま権利擁護センター 自立相談支援センター
- 第7回 開催年月日 令和元年11月28日(木) 出席者数/8人
 協議内容/・自立再プラン案の検討(2件)・自立新規プラン案の検討(2件)・家計新規プラン案の検討(2件)
 出席関係機関・団体/保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 医療法人昌和会見立病院 自立相談支援センター
- 第8回 開催年月日 令和元年12月23日(月) 出席者数/7人
 協議内容/・自立再プラン案の検討(2件)・家計再プラン案の検討(1件)
 出席関係機関・団体/保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 自立相談支援センター
- 第9回 開催年月日 令和2年1月20日(月) 出席者数/10人
 協議内容/・自立再プラン案の検討(3件)・自立新規プラン案の検討(2件)・家計新規プラン案の検討(1件)
 出席関係機関・団体/保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 軽費老人ホーム三光園
 かま権利擁護センター 自立相談支援センター
- 第10回 開催年月日 令和2年2月19日(水) 出席者数/9人
 協議内容/・自立新規プラン案の検討(1件)・家計新規プラン案の検討(1件)
 ・自立再プラン案の検討(2件)・家計再プラン案の検討(2件)
 出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 嘉麻市健康課 福岡県済生会飯塚嘉穂病院 かま権利擁護センター
 自立相談支援センター
- 第11回 開催年月日 令和2年3月27日(金) 出席者数/7人
 協議内容/・自立新規プラン案の検討(3件)
 出席関係機関・団体/保護課 ハローワーク 障がい者就業・生活支援センターBASARA
 自立相談支援センター

(3) 就労支援に関すること

① 支援状況

- ・情報提供 45回 一般就労につながった件数 5件
- 【就労先】日通警備 グリーンアース 井上組 日立物流(株) バンテック 住宅工房

(4) 家計改善支援事業に関すること

① 初回相談

件数 17件 (来所 6件 訪問 8件 電話 1件 関係機関からの紹介 2件)

② 年齢

人数 17人 (20歳～29歳 1人 30歳～39歳 3人 40歳～49歳 3人 50歳～59歳 2人 60歳～69歳 5人 70歳～79歳 3人)

③ 性別

人数 17人 (男性 10人 女性 7人)

④ 相談内容(複数)

相談内容延べ件数 41件 (収入や生活費 13件 債務 10件 税金や公共料金 7件 家賃やローン 9件 その他 2件 (施設利用料の支払い・夫の入院費))

⑤ スクリーニング結果

スクリーニング件数 17件 (引き続き支援を継続する 5件 相談のみで終了 3件 他の制度や専門機関につなぐ 3件 プランを策定し継続支援する 6件)

⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 268回 (来所 35回 訪問 53回 電話 70回 同行 32回 関係機関から 78回)

(5) 住居確保給付金の窓口業務に関すること

① 相談状況

実人数 0人 延べ人数 0人

② 申請状況等

申請件数 0件

(6) 生活福祉貸付事業に関すること

① 相談・貸付等の状況

- ・相談件数 635件 (新規相談 107件 継続相談 528件)
- ・相談の形態 635件 (来所 116件 訪問 93件 電話 234件 転送電話 1件 同行 26件 関係機関から 165件)
- ・貸付件数 35件 貸付総額 6,083,000円

・貸付資金種類（詳細内訳）

資金種別	区分	貸付の詳細	貸付件数	貸付合計額
福祉資金	福祉費	被保護者の生活必需品の購入（エアコン）	7件	580,000円
		被保護者の生活必需品の購入（エアコン・冷蔵庫・洗濯機）	1件	160,000円
		葬儀に伴う費用	1件	200,000円
		自動車免許取得のための教習費	1件	336,000円
小計			10件	1,276,000円
教育支援資金	教育支援費	高等学校1件 専門学校1件	2件	333,000円
	就学支度費	高等学校3件	3件	721,000円
	教育支援費+就学支度費	高等学校1件 専門学校2件 大学1件	8件	2,956,000円
小計			13件	4,010,000円
緊急小口資金		公的給付（生活保護）までのつなぎ	9件	297,000円
		初任給が支給されるまでのつなぎ	1件	100,000円
		新型コロナ特例貸付（学校休校で仕事を休むことによる収入減）	1件	100,000円
小計			11件	497,000円
総合支援資金		新型コロナ特例貸付（イベント中止による収入減）	1件	300,000円
小計			1件	300,000円
合計			35件	6,083,000円

② 滞納世帯への働きかけ

・滞納状態にある借受人及び連帯借受人に対し、センターの存在を知らせて相談につなげるため、5月、8月、11月、2月に償還金の払込票とともにセンターの案内チラシを郵送した。結果、年間を通して2件の連絡があった。

(7) フードバンク事業に関すること

① 食材を必要とした方々の生活状況

提供年月日	受取者	困窮状態等の概要	提供した食品・物品の内訳
令和元年5月8日(水)	男性	平成31年3月まで建設業で働いていたが、請負の仕事が徐々に減り、4月からは全くなかった。生活保護と生活福祉資金（緊急小口資金）を申請したが、食べる物がない。	袋麺1袋 レトルト食品7箱 ふりかけ1袋 その他（のりの佃煮1瓶 めんつゆ1本 お茶1袋 ガスボンベ1セット）
令和元年5月14日(火)	男性	平成30年3月から知人がはじめた飲食店の従業員を深夜自宅まで送る仕事を日払い（5千円）でしていたが不眠症で働いていることを伝えると、来なくていいと言われ、収入を得る道が途絶えてしまった。現在、自宅中心の生活をする娘と2人暮らしで、生活に困窮し、昨日生活保護を申請した。所持金も食材もわずかしかなかった。	白米5kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品9箱 ふりかけ1袋 味噌汁1袋 その他（お茶1袋 めんつゆ1本 鮭瓶1セット ジュース6本）
令和元年5月28日(火)	男性 ①	56歳で妻と2人暮らし。今年1月に株式会社一広産業を退職し、妻の年金約10万円/月と失業手当7万円で生活してきたが、所持金と食材がわずかしかなかった。妻が精神的に不安定で、働きに出ることができず、困窮状態に陥っている。	白米5kg カップ麺2個 ふりかけ1袋 缶詰4缶
令和元年6月3日(月)	女性	3歳と0歳の子供と3人暮らし。2月に離婚し、パート収入月額3万円と養育費（4万5千円）を生活費に充てていたが、精神的に不安定な状態が続き、家計も回らず、令和元年5月31日に生活保護を申請した。6月11日には児童手当4ヶ月分10万円が入るため、それまでの食材を提供した。	袋麺1袋 レトルト食品10箱 ふりかけ3袋 缶詰4缶 その他（めんつゆ1本 鮭瓶1セット ジュース10本 紙パンツ1袋（Lサイズ））
令和元年6月20日(木)	女性	24歳妊娠7ヶ月で一人暮らし。子どもの父親とは連絡がとれない状況。所持金は千円で食べる物がない。生活保護申請する予定。食べ物がなかったため、緊急小口資金の手続きをすすめるとともに食材を提供した。	白米5kg カップ麺4個 ふりかけ2袋 缶詰6缶 その他（そうめん1袋 めんつゆ1本 ジュース10本 さんまパック2個 のりの佃煮1瓶）
令和元年7月2日(火)	女性	地域福祉権利擁護事業にて週2回生活費を届けている。届けたお金を早々に使ってしまう、お米はあるがおかずがなく困っている。	ふりかけ2袋
令和元年7月12日(金)	女性	四女（生後1ヶ月）と生活している。休職中で収入が減り、家計が苦しくなった。おかずはあるとのことだったため、ビタミンなどの栄養が摂れるフルーツジュースを提供した。	ジュース20缶
令和元年7月12日(金)	男性 ①	7月11日に訪問した際に、8月の年金まで所持金がないため、数日前から夕食を食べていないとのことだった。8月の年金が入るまでの残り2週間分の食材を提供した。今後については、センターでプランを作成し、家計や生活について見直し、支援していく。	白米5kg 袋麺1袋 レトルト食品7箱 ふりかけ3袋 缶詰9缶 その他（ジュース17本 めんつゆ1本）

令和元年7月17日(水)	男性 ②	妻から「食べるものがなく困っている。」との連絡を受けて訪問した。その後、妻は嘉麻警察署に一時保護されることとなった。本人は、食べる物がなく健康状態にも影響が出ている状況だったため、自宅に食材を届けたところ、刑事との面談中で、直接会うことができなかつたため、刑事に預けた。	白米5kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品10箱 ふりかけ1袋 缶詰8缶 味噌汁2袋 その他(めんつゆ1本 鮭瓶1セット)
令和元年7月29日(月)	女性	草刈り作業に転職した次男の給料(末締めの翌月末払い)が入るが、稼働日が少なく生活費として入れてくれるお金が2万円程度にしかない。家賃も滞納しており、これ以上の滞納はできない状況にある。次男には毎日お弁当を持たせなければならないが、お金がなく食材を買うことができない。	白米5kg カップ麺6個 レトルト食品4箱 缶詰4缶 その他(そうめん1袋 めんつゆ1本 ジュース17本)
令和元年8月14日(水)	女性	令和元年7月から自立相談支援センターにてプランを立てて支援中。8月10日の給与は7万4千円で、普段より8万円少なく、福岡銀行に借入をしなければ生活できない状況。食材が全くないとのことで提供した。	白米5kg 袋麺4袋 レトルト食品16箱 缶詰8缶 味噌汁1袋 その他(のりの佃煮1瓶 めんつゆ1本)
令和元年8月19日(月)	男性 ①	56歳1人暮らし。7月中旬まで、日雇いの土木・草刈りなどで働いていたが、体調不良で仕事に行けず、手持ち20円で本日、生活保護を申請した。食材もほとんどないとのことで、本日分の食材を提供。明日以降については、米を炊けないとのことで、米等を自宅に届ける予定である。	カップ麺2個 缶詰2缶
令和元年8月20日(火)	男性 ②	8月19日、生活保護を申請し、緊急小口資金を申し込んだ。昨日は、1日分の食料を提供し、本日は、自宅に届けた。	白米5kg カップ麺9個 レトルト食品8箱 缶詰6缶 その他(のり1袋)
令和元年8月22日(木)	男性 ③	現在、一人暮らし。今までは、妻の年金の中で生活費などをやりくりしていたが、妻が7月17日に入院したことで、食材等を買うことができなくなった。雇用保険の受給も終わっているため、収入がなく、生活が苦しい状況。本日、訪問すると、三日間何も食べていないと話されたため、食材を提供した。	白米5kg、カップ麺4個、袋麺2袋、レトルト食品8箱、缶詰6缶、味噌汁2個、その他(めんつゆ2本、さんまそぼろ1個、ちゃんぽん春雨1個、スープ1個)
令和元年8月26日(月)	男性 ④	8月22日に食材を届けたが、日用品も購入できていないため、本日は生活用品を自宅に届けた。今後については、生活保護の申請についても視野に入れて、支援していく。	その他(トイレットペーパー12ロール)
令和元年8月30日(金)	男性 ⑤	退職後、体調を崩し、自宅中心の生活を送っている。生活保護申請に向けた支援中であり、定期的に食品等を提供している。	カップ麺1個、レトルト食品3箱、味噌汁2個、その他(コーヒー1袋、レトルト食品2袋)
令和元年9月3日(火)	男性 ⑥	本日生活保護を申請した。高血圧や糖尿病の症状で、体に痛みがある様子。今後は、光熱水道費や賃貸契約の名義を変更することや、食材等の提供をすることで、生活保護受給まで生活をサポートしていくことにしている。	白米5kg、カップ麺6個、レトルト食品5箱、ふりかけ1袋、缶詰6缶、味噌汁1袋、その他(ごはん3パック、鮭瓶2瓶、のりの佃煮1瓶、スープ1カップ)
令和元年9月4日(水)	男性	父と二人暮らし。8月に父の年金と自身の給与が入ったが、6月、7月に首や足の痛みがあり、1週間仕事を休んだため、給与が少なく、また、友人から借りたお金を返済したため、現在手持ちが100円となった。昨日からほとんど食事を摂っておらず、ガソリンも入っていない。9月13日には、給与約10万円が入る予定である。	白米7kg、カップ麺8個、袋麺1袋、レトルト食品9箱、ふりかけ1袋、缶詰7缶、味噌汁1袋、その他(味噌1個、鶏炭火焼1個、めんつゆ1本)
令和元年9月9日(月)	男性 ①	6月から家を出て、小倉にて車中生活を送っていた。8月27日に体動困難、下肢脱力で救急搬送され、入院し、9月5日に退院した。滞納していた光熱水費の支払いを済ませると残金なくなり、10月の年金まで生活できない。	白米5kg、カップ麺6個、レトルト食品6箱、缶詰6缶、味噌汁1袋、その他(なめ茸1瓶、炊飯器1台)
令和元年9月10日(火)	男性 ⑦	週に1度食材を届けることにしている。また、生活保護の受給決定まで、名義変更などのサポートを行う。訪問時、体調不良の訴えがあったため、保護課にも状況を伝えた。	白米5kg、カップ麺6個、レトルト食品7箱、缶詰6缶
令和元年9月11日(水)	男性 ①	69歳で独居の男性。月7万円の年金で生活している。今まではパチンコをしても食費は残していたが、今回は使いすぎてしまい、今夜から食べる物もない状況。計画通りにお金を使うことができなくなっており、金銭管理も含めた支援が必要と思われる。なお、療育手帳を持っていないが、お金の計算等に支障があり、買い物もうまくできていない。また、兄弟とも疎遠で、近所との関わりもないことがわかった。	白米5kg、カップ麺6個、レトルト食品6箱、缶詰6缶、味噌汁1袋、その他(鮭瓶1瓶)
令和元年9月17日(火)	男性 ②	8月の年金を使ってしまい、10月の年金まで生活できない。今後は、地域福祉権利擁護事業の利用と自立支援プラン、家計支援プランを作成し、自立に向けて支援する予定である。	カップ麺8個、袋麺5袋、レトルト食品7箱、ふりかけ2袋、缶詰9缶、味噌汁3袋、その他(めんつゆ10袋、のりの佃煮1瓶、セットボンベ1セット)

令和元年9月17日(火)	男性 ⑧	9月12日、検診命令を受け、高血圧症、糖尿病と言われ、腎臓も悪くなっているとのことだった。1週間分の食材を届け、家賃が9月から3万2千円になることと、本人名義となることを伝えた。	カップ麺2個、袋麺4袋、レトルト食品9箱、缶詰4缶、味噌汁1袋、その他(めんつゆ1本、のりの佃煮1瓶)
令和元年9月18日(水)	男性 ②	10月の年金日まで、収入がなく、食べる物もないと相談を受けた。年金日までの1ヶ月間食材を提供し、年金日までに日常生活自立支援事業の契約を行い、計画的にお金が使えるように支援を行っていく。同居している長兄も8月に仕事を辞め、現在休職中であるため、次回食材を提供する際に、長兄と話しができるようにタイミングを見て伺う。	カップ麺13個、缶詰15缶、その他(そうめん3袋、めんつゆ1本)
令和元年9月20日(金)	男性 ②	今月11日に1度フードバンクを提供したが、食材が尽きたとのことだった。今後は、自立相談支援センターでプランを立てて支援を行う。お金の使い方については、日常生活自立支援事業を利用する予定。来月15日まで収入がないため、1週間ごとに訪問して、食料の提供を行う予定。	カップ麺10個、レトルト食品3箱、ふりかけ1袋、缶詰6缶、味噌汁1袋
令和元年9月24日(火)	男性 ⑨	1週間分の食材を提供した。9月26日に妻と話しをすることになっており、同日生活保護の受給決定の可否についても、連絡がある予定。	白米5kg、カップ麺6個、ふりかけ1袋、缶詰3缶、その他(そうめん2袋、カレールー1箱、のりの佃煮1瓶)
令和元年9月24日(火)	女性	8月に夫が職場で倒れ(脳出血)、飯塚病院に緊急搬送された。9月19日に転院し、10月1日に主治医から治療方針や今後の見通し等について、説明がある。9月15日に夫の給料(8月分)32万円と9月20日に妻のパート収入(8月分)12万が入ったが、入院費25万円を支払ったため、手元にはほとんどお金が残っていない。傷病手当の手続きは10月以降会社がしてくれることになっている。夫婦と子ども5人の7人世帯。長男と次男はアルバイトをしている。二人で20万/月の収入がある。	白米5kg
令和元年9月24日(火)	男性 ③	10月の年金まで生活できない。明日、特定検診の予定。自立支援プラン、家計改善支援プランについて、内容を確認し、同意を得た。	カップ麺5個、レトルト食品3箱、缶詰6缶、その他(スープ1個、のり2袋、サバ1瓶、つくだ煮1瓶、紅茶2袋)
令和元年9月26日(木)	女性	夫婦と子どもの3人暮らし。息子は、友人の家と実家を行き来しているため、2人で年金約10万円/2か月で生活している。夫が以前患った脳出血から2箇所病院に通院しているため、医療費が嵩み、生活費が足りなくなっている。2年前に相談に来た際は、収入が保護基準額を下回っているため、保護の申請をすすめた。今回もすすめたところ、検討してまた相談しますとの返答であった。	白米5kg、カップ麺10個、ティッシュ1箱
令和元年9月27日(金)	男性 ③	9月18日に食材の提供を行ったが、食材が尽きたとの相談を受けたため、再び訪問して、提供を行った。同居している長兄と話しをするために昼間に伺ったが不在であったため、年金日までに食材を再び持って行く際に話しができるようにタイミングを伺う。	白米5kg、カップ麺10個、ふりかけ2袋、缶詰4缶、味噌汁1袋
令和元年9月27日(金)	男性 ③	今月11日と20日にフードバンクから食材を提供したが、食料が尽きたとのことであったため、訪問して食料を提供。10月の年金受給日までに日常生活自立支援事業の契約を行い、支援を行う予定。年金受給日まで1週間毎に訪問して食材提供を行う。	白米3kg カップ麺10個、缶詰4缶 味噌汁1袋
令和元年9月30日(月)	男性 ④	10月の年金まで、週1回食材を届けている。自立支援プラン、家計改善支援プランを説明し、同意を得たため、署名・押印をもらった。また、地域福祉権利擁護事業専門員と同行した。	白米7kg、カップ麺4個、レトルト食品2箱、ふりかけ2袋、缶詰5缶、味噌汁1袋、その他(塩こんぶ1袋)
令和元年10月3日(木)	男性 ④	先月も3度フードバンクから食材を提供している。15日の年金受給日まで食料がないため、もう一度訪問して提供する予定。本日、日常生活自立支援事業の担当者と同行し、利用申込書を記入してもらった。来週再び訪問して、契約することとした。	カップ麺12個、レトルト食品2箱、ふりかけ2袋、缶詰4缶、味噌汁2袋
令和元年10月8日(火)	男性 ⑤	年金前、最後の提供を行った。明日、特定検診の結果を聞きに行く予定。また、地域福祉権利擁護事業の契約を同日契約し、年金の範囲内で安定した生活を送れるよう支援していく。	カップ麺6個、レトルト食品4箱、ふりかけ2袋、缶詰8缶、その他(カップスープ2個、鯛みそ1瓶、鶏炭火焼き2袋、からし1本、マヨネーズ1本、カセットボンベ1セット)

令和元年10月8日(火)	男性 ⑤	8月に入った年金から生活に必要なお金を残す予定だったが、手持ちのお金がなくなり、生活が苦しくなった。10月15日から2週間に1回、日常生活自立支援事業を利用しながら、家計が回るよう支援してく。	カップ麺8個、レトルト食品5箱、缶詰4缶
令和元年10月10日(木)	男性 ①	派遣会社で土木作業の仕事をし、1日8千円を受け取って生活していたが、10月以降仕事がなくなり、収入がなくなった。現在、ライフラインは全て使えず、唯一、ガスコンロがあるため、お湯が沸かせる状況。10月11日には、面接があり、採用されれば、月20万円の収入が見込まれている。1週間分の食材を提供し、就労支援を含め、生活の立て直しを考えていくことにしている。	白米5kg、カップ麺6個、レトルト食品3箱、ふりかけ1袋、缶詰4缶、その他(紅鮭がゆ1袋、ガスボンベ2本、のりの佃煮1瓶)
令和元年10月15日(火)	男性 ②	16日から働くことになっている。10月分は11月末に給与が入ることになっているが、前給制度を利用し、10月末に2万円まで受け取れるとのことだった。生活福祉資金の申し込みについては、考えたいとの返事であったため、後日返事をもらうことにしている。	カップ麺11個、袋麺2袋、缶詰4缶、その他(めんつゆ1本、カセットボンベ1本)
令和元年11月25日(月)	男性 ③	民生委員から本人が「お金を貸してほしい。」と民生委員宅に来られたことを受け、本人宅を訪問した。派遣会社から土木の仕事(日払い)を紹介してもらい、1ヶ月間住み込みで働いたが、給与をもらえなくなり、生活が苦しくなったとのこと。仕事の紹介を希望しており、11月26日に自立相談支援センターで面談することとした。	カップ麺3個、袋麺1袋、レトルト食品1箱、缶詰3缶、その他(めんつゆ5袋)
令和元年12月12日(木)	男性 ①	11月23日に飯塚市から現住所に引っ越してきたが、車が故障した。修理費用を工面できず、仕事に行けなくなったため、土木関係の仕事を解雇された。収入も途絶えており、また、引っ越し等にかかる費用や支払いを優先したため、手元にお金が残らず、生活できなくなった。再度、訪問して話を伺い、今後の方向性について考えていく。	白米5kg、カップ麺10個、ふりかけ2袋、缶詰4缶、炊飯器1台(貸出)
令和元年12月17日(火)	男性 ②	12日に提供したが、米以外が尽きたとのことで、食材提供を行った。今後は、緊急小口資金を申請し、初任給までの生活費の確保や支払いを行っていく予定。また、支払い等の整理について、家計改善支援員と訪問して、一緒におこなっていく予定である。	カップ麺10個、ふりかけ3袋、缶詰4缶
令和2年1月9日(木)	男性	就職が決まったため、昨年12月に生活保護を廃止したが、仕事が続かず、収入がなくなったため、困窮した。本日再び、生活保護の申請を行ったが、決定するまで生活するお金がないため、緊急小口資金の貸付の相談に来所。昨年末から食べるものがなく、ここ数日は何も食べていないとのことだったため、食材の提供をおこなった。光熱水費の未払いがあり、ライフラインが止まるとのことだったため、支払い方法について考えていく。	白米5kg、ふりかけ3袋、缶詰12缶、その他(のりの佃煮1瓶)
令和2年1月10日(金)	女性	1月6日に離婚し、1歳の双子を養育していかなければならず、お金も食べ物もないため、昨日、生活保護を申請した。1月24日には、アルバイト収入が6万円入る予定であるが、21日までに電気代6千円を支払わなければならないため、緊急小口資金を申請予定である。	白米3kg、カップ麺8個、ふりかけ1袋、缶詰6缶、その他(おむつ1袋、おしりふき1個、めんつゆ1本、そうめん1袋、うどん1袋、ゼリー1セット、スープ3個)
令和2年1月24日(金)	女性	母子家庭で、中学1年生、小学5年生、8ヶ月の子どもを養育中。福祉施設で働いていたが、現在、育児休業中で育児給付金(10万/1ヶ月)と児童手当、児童扶養手当で生活している。今回、20日頃に育児給付金(2ヶ月分)が入ると思っていたが、施設側の手続きが遅れている。小学5年の次男が白血病で27日まで一時帰宅中。本日、手続きが終わったため、5~7日後に入金予定となったが、それまで食べる物がない。	白米7kg、カップ麺8個、味噌汁2袋、その他(牛丼の具1袋、中華丼の具1袋、そば1袋、そうめん1袋、うどん1袋、めんつゆ1本、マロニー1袋、おでんの素1箱、カレールウ1箱、のりの佃煮1瓶、鍋キューブ1袋)
令和2年2月18日(火)	女性	本日、生活保護を申請したとのことで、保護課相談員と来所した。所持金が5千円しかなく、3月11日に児童扶養手当が8万円支給されるまで収入がない。電気代や車の任意保険料が滞納となっている。緊急小口資金の利用はできない状況であるため、ライフレスキューでの生活の立て直しを検討する。	白米3kg、袋麺2袋、レトルト食品9箱、缶詰2缶、味噌汁2袋、その他(カレー1箱、めんつゆ1本)

令和2年2月26日(水)	男性	2月に入った年金を借金の支払いや返済に充ててしまい、手持ちのお金もない。4月の年金まで収入のあてもなく、困窮状態が続く。度々この状況を繰り返していることから、日常生活自立支援事業を説明したところ、利用を希望された。今後は事業の契約について手続きを進めるとともに、ライフレスキュー事業についても検討する。	白米5kg、カップ麺8個、袋麺3袋、レトルト食品7箱、ふりかけ1袋、缶詰6缶、味噌汁2袋、その他(スープ1箱、めんつゆ1本、醤油1本、ポン酢1本、鶏ガラスープの素1袋)
令和2年2月28日(金)	男性 ①	4年前に解雇(実家が経営していた会社)され、預貯金を切り崩しながら生活していたが、貯金が底をついた。食べる物もないため、食材を提供。難病による働きづらさもあるようだが、就労支援や障害年金受給の可能性を探りながら、支援する。やむをえない場合は、生活保護申請も視野に入れる。(その際は、家賃5万3千円が課題となる。)	カップ麺6個、レトルト食品6箱、缶詰3缶、味噌汁2袋、その他(おかゆ1袋、パックご飯5食入り3袋)
令和2年3月6日(金)	男性 ②	自宅に炊飯器がなく、パックご飯を購入することもできない。ライフレスキュー事業でお米を購入する予定であり、ご飯が炊けるようにする必要があるので、提供した。	炊飯器1台
令和2年3月17日(火)	男性	家賃5ヶ月分を滞納し、退去を求められている。今後も住み続けたいと希望しているため、大家に交渉した。家賃3ヶ月分を支払えば、その後は、家賃プラス1万円で考えても良いとのこと。3月18日のネットワーク委員会役員会で、認められれば、支払う予定である。また、同時にライフレスキュー事業を利用し、4月22日までの生活をつなぐ。4月22日以降については、地域福祉権利擁護事業にて金銭管理を行うこととしている。	白米2kg、レトルト食品3箱、缶詰5缶、その他(めんつゆ1本、そうめん1袋、スープ1個、鮭瓶1瓶、マヨネーズ1本)
令和2年3月19日(木)	女性	昨年11月頃にエアコンが壊れてしまい、買い替えたことで、貯金が尽きてしまった。1月中旬から徐々に食事も満足に摂れない日が続き、体調が悪くなった。4月15日に年金約18万/2ヶ月が入るが、それまでの生活が苦しい。	白米2kg、レトルト食品2箱、缶詰3缶、味噌汁1袋、その他(牛丼1袋、おかゆ3袋、カセットボンベ1セット、カレー1箱)
令和2年3月30日(月)	女性	コロナウイルスの影響で小・中学校が休校になり、仕事を休まざるを得なくなった。そのため、4月10日の給料日には、全くお金が入らず、生活できないため、緊急小口資金の借入申込を行うこととした。その間の食材を提供した。	白米5kg、カップ麺8個、袋麺3袋、レトルト食品9箱、缶詰2缶、その他(スープ1箱、だし1袋、鍋キューブ1袋、コーヒー2カップ、スープ1袋)

② 事業への協力状況

- ・食品及び物品の協力件数 22 件

【障がい者支援施設清浄学園1件 軽費老人ホーム稲穂園2件 障がい者支援施設さくら学園1件 障がい者支援施設第2さくら学園1件 介護老人保健施設シルバーケア嘉穂2件 かま福祉ネットワーク1件 嘉麻市保護課1件 嘉麻市社会教育課1件 嘉麻市防災対策課1件 高齢者相談支援センター3件 嘉麻市社会福祉協議会2件 市民6件】

- ・協力いただいた食品及び物品の内訳

【食品】米60kg ご飯パック14個 おかゆ6袋 麺類346食 即席汁物52袋 レトルト食品121食 ふりかけ・のり28袋 缶詰159缶 調味料88点 お茶3箱 めんつゆ19本 めんつゆ60袋 瓶詰(岩のり・鮭)10個 ゼリー10個 コーヒー4袋
【物品】カセットボンベ31本 冷蔵庫1台 扇風機2台 カセットコンロ1台 石鹸7個

③ 食品及び物品の提供状況

- ・食品を必要とした方27人 ・食品を提供した延べ回数48回
- ・物品を必要とした方9人 ・物品を提供した延べ回数12回
- ・貸出しを必要とした方1人 ・物品を貸出した延べ回数1回
- ・提供した食品・物品及び貸出した物品の内訳

【提供食品】米144kg ご飯パック6個 おかゆ5袋 袋麺46袋 カップ麺255個 即席汁物44袋 レトルト食品215食
ふりかけ・のり43袋 缶詰219缶 めんつゆ18本 めんつゆ15袋 岩のり・佃煮21個 調味料11点 飲料水87点
ゼリー10個
【提供物品】幼児用紙オムツ2袋 お尻ふき3パック 箱ティッシュ1袋 トイレットペーパー1袋 カセットボンベ13本 炊飯器2台
【貸出物品】炊飯器1台

④ 食品及び物品在庫一覧（令和2年3月31日現在）

<p>【食品】 米 63kg ご飯パック 3食入り 5袋 ご飯パック 5食入り 3袋 おかゆ 1袋 カップめん 72個 マロニー 1袋 そうめん 4袋 レトルトカレー 2箱 牛たま丼 8箱 親子丼 8箱 中華丼 10箱 牛丼 3個パック 1袋 親子丼 3個パック 1袋 味噌汁 6食入り 1袋 吸い物 4食入り 1袋 めんつゆ 2本 スープ 1袋 だしの素 1箱 片栗粉 1袋 ほんだし 2袋 砂糖 1袋 タバスコ 2箱 こしょう 2箱 ラー油 2箱 一味唐辛子 3箱 七味唐辛子 3箱 マヨネーズ 3本 ケチャップ 3本 お好みソース 1本 酢 2本 醤油 11本 ごま油 1本 カルボナーラうどんの素 2袋 バター醤油うどんの素 3袋 鶏ガラスープ 1袋 チーズダッカルビスープ 1袋 鍋キューブ 2袋 お茶 3箱 インスタントコーヒー 3袋 スティックシュガー 3袋 クリープ 3袋 粉ミルク 1缶</p> <p>【物品】 ポケットティッシュ 3個 石鹸 20個 スポンジ 2個 布巾 3枚 タオル 2枚 お風呂洗剤 2本 消臭スプレー 1本 お風呂の洗剤（詰め替え用） 2袋 ハンドソープ 1本 ボディソープ（詰め替え用） 1袋 ボディシャンプー 2本 シャンプー 2袋 コンディショナー 2袋 カセットボンベ 3個セット 9個 ガスボンベ 1個 暖房器具 2台 扇風機 2台 カセットコンロ 1台 冷蔵庫 1台 マミーポコ紙パンツ Lサイズ 66枚入り 2袋 マミーポコ紙パンツビッグサイズ 60枚入り 2袋 子ども用紙おむつ 64枚入り（M） 3袋 子ども用紙おむつ 74枚入り（S） 2袋 子ども用紙おむつ 82枚入り（S） 2袋 おしりふき 33袋 箱ティッシュ 1袋 トイレトペーパー 3袋 やかん 1個 包丁セット 1セット スーツ上下セット 8セット スーツ上着 2着 カッターシャツ 4枚 履歴書（パート・アルバイト） 5袋 履歴書（新卒・再就職） 4袋</p>

（8）無料職業紹介所（嘉麻市生活困窮者自立相談支援事業受託）に関すること

①求人登録状況

- ・常用求人登録件数 81件
- ・求人登録企業 6件及び業種区分

【企業名及び業種】

- ・社会福祉法人山田慈恵会（介護サービスの職業） ・サンコーケアライフ（株）ライフステイいなつき（介護サービスの職業・調理師）
- ・ほっともっと山田店（飲食物調理の職業） ・麻生介護サービス（株）（介護サービスの職業）
- ・障がい者支援施設さくら学園（飲食物調理の職業） ・医療法人新緑会愛恵医院（介護サービスの職業）

②求職登録状況

- ・求職登録者 9人
- ・年齢（31歳～40歳 2人 41歳～50歳 4人 51歳～60歳 1人 61歳～70歳 2人）
- ・性別（男性 5人 女性 4人）
- ・紹介状発行者数 1人
- ・就労につながった方 1人

【就労先】 農業組合法人カッホー馬古屏 1人